

高等教育コンソーシアム信州
連続講演会「発達障害のある学生への支援」

発達障害のある 学生のための学習支援



高橋 知音

実習の授業でうまくいかないAさん

- あいまいな指示は理解できない
- 状況に応じた判断ができない
- 相手の意図、感情を理解するのが難しい
- 自分の経験していないことをイメージするのが難しい
 - 相手の立場に立って考えることは難しい
- 多くの要素を総合的に判断するのが難しい

- **自閉症スペクトラム障害**の特徴がある

2

なぜうまくいかないか？

- 中枢神経系の障害
- 他者の行動や感情に反応する機能の低下
- 神経ネットワークが整理されてない？
- 単純な記憶は強くても、要素間の結びつきは弱い
- 論理的思考の強さがあっても、行間を推測するような思考は弱い

ちょっとしたミスが多いBさん

- 指示の聞き漏らし、聞き間違いが多い
- 集中力が続かず、一つの作業が完成しない（他に意識が行ってしまう）
- 優先順位がつけられない
- 整理整頓が苦手、ものをなくす
- 十分に考えず、思い立ったらすぐに行動に移してしまう
- 遅刻が多い

- **ADHD**の特徴がある

4

なぜうまくいかないか？

- 中枢神経系の障害
 - 情報のフィルター機能の低下
 - 情報にメリハリをつけられない
- 重要でない情報に思考や行動が影響される（不必要な反応をおさえられない）

講義形式の授業についていけない Cさん

- ノートを取るのに時間がかかるため、書くことに集中すると話の内容について行けない
- 読むのが遅く文献や図書を大量に読まなければならない課題をこなせない
- 資料を読んで論述する試験では、読むのも書くのも遅いため、時間が足りない
- 誤字が非常に多くなり、評価が下がってしまう

- **学習障害**の特徴がある

なぜうまくいかないか？

- 中枢神経系の障害
- 視覚情報をうまく統合できない
- 文字と音の変換がうまくいかない
- 数、量の感覚がわかりにくい

学習面における具体的支援

講義形式の授業

- 聴覚理解の補助・ノートテイクの補助
 - 講義資料の配布
 - 録音の許可
 - ノートテイク
 - デジカメで黒板(ホワイトボード)の撮影
- 資料読解への補助
 - 電子データの提供
 - 読み上げソフトの利用

成績評価

- 「特別扱いはできない」
- 「不公平にならないか？」
- 機能障害がハンディキャップにならないような評価方法の工夫
- センター試験での基準は一つの指針

入試と特別措置

- 大学入試センター試験での特別措置
 - 2011年1月のセンター試験より実施
 - 試験時間の延長(1.3倍:読むことに時間がかかる場合)
 - チェック回答(不器用さ) → 例
 - 拡大文字問題冊子の配布(1.4倍:視覚的困難)
 - 別室の設定(集中できない、声を出してしまう、じっとしてられない)
 - 試験室入り口までの付き添い者の同伴
 - 試験室や座席の配慮(トイレ、1階、出口に近い)

公民、地理歴史、国語及び外国語のチェック解答用紙の様式(見本)(原寸222mm×279mm)

解答番号	解 答 欄									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

以下省略

解答番号1の解答欄に2と解答する際のチェック例
 ✓を表示するのが難しい場合は、例えば○・×・/など、解答箇所が判読できる表示であればいずれでもかまいません。
 解答箇所を訂正する場合は、消しゴムで消してください。消すことが困難な場合は、監督者又は介助者に申し出て消してもらうことができます。

成績評価

- 別室受験
- 試験時間延長
- パソコン筆記
- 拡大問題冊子
- 問題音読者
- 口述試験やレポートによる代替措置
- レポート課題における評価基準の明確化

演習形式の授業

- ルールの明確化
- 答えやすい質問形式の工夫
- 発表資料の作成法の指導
- オンライン・ディスカッションの活用

実験形式の授業

- わかりやすい説明資料
- 実験補助者や仲間からの支援
- 感覚過敏への対処

学外実習

- 実習に参加させるための条件を設定する
- 実習先の受け入れ担当者に情報提供
- 受け入れ担当者と面接
- 「サポートブック」の作成
(想定される困難、効果的な対応)
- 中止条件の設定
- 実習補助で支援スタッフが入る

教育実習に必要なスキルに関する チェックリスト

対人コミュニケーション

- あいさつができる。
- 相手の目を見て話をする。
- 自分の意志を言葉で相手に伝えることができる。
- 例: 「〇〇へ行かせてください」「退席させてください」
- 適切な敬語を使うことができる。
- 相手の気持ち、感情を理解することができる。

発達障害のある学生のための 学習支援

- 支援の基本は学生の**学ぶ権利**の保障
- 「卒業させること」が目標ではなく、**学ぶ環境を整えること**が大学の責務
- 単位認定のハードルを下げないのが基本
- 「診断名」でなく**学生の特性**に応じた支援
- 過剰ではない不可欠な支援

発達障害のある大学生支援に関する書籍等

1. 高橋知音 2012 発達障害のある大学生のキャンパスライフサポートブック 学研
2. クイン・レイティ・メイトランド(篠田・高橋監訳) 2011 ADHD コーチングー大学生生活を成功に導く援助技法 明石書店
3. 福田真也 2010 「Q&A大学生のアスペルガー症候群 — 理解と支援を進めるためのガイドブック」 明石書店
4. 佐々木正美・梅永雄二 2010 「大学生の発達障害」 講談社
5. 斎藤清二・西村優紀美・吉永崇 2010 発達障害大学生支援への挑戦 — ナラティブ・アプローチとナレッジ・マネジメント 金剛出版
6. 太田正己・小谷裕実編 2009 LD・ADHD・高機能自閉症等の人の学校・家庭での生活を支えるヒント集—高校・大学編— 黎明書房
7. 福田真也 2007「大学教職員のための大学生のこころのケア・ガイドブック — 精神科と学生相談からの15章」 金剛出版
8. 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所編 2007 「発達障害のある学生支援ケースブック—支援の実際とポイント—」 ジアース教育新社
9. 国立特別支援教育総合研究所編 2005 「発達障害のある学生支援ガイドブック—確かな学びと充実した生活をめざして—」 独立行政法人ジアース教育新社

発達障害のある大学生支援や就労支援に関するダウンロード可能な資料

1. 信州大学学生支援GP報告書
http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/summary/2010/gakusei_shien_gp/
2. 独立行政法人日本学生支援機構 2009 教職員のための障害学生修学支援ガイド
http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/guide/top.html
3. 職業能力開発総合大学校能力開発研究センター 「発達障害のある人の職業訓練ハンドブック」
<http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/download/document/kankoubutu/b-142-07.pdf>
4. 障害者職業総合センター「就職支援ガイドブック...発達障害のあるあなたに...」
http://www.nivr.jeed.or.jp/research/kyouzai/24_guidebook.htm
<他にも障害者職業総合センターでは各種資料をダウンロードできるようになっています>
<http://www.nivr.jeed.or.jp/research/research.html>